

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371001088
事業所名	グループホーム フレンズハウス大塩

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	毎朝の散歩ではゴミ拾いを職員と入居者が一緒に行っており、近所の方は「ご苦労様」と声をかけてくれる。自治会に加入し入居者と一緒に回覧板を回している。地域の町内会祭りには参加しているが、敬老会には今年は参加できていないため、来年度は積極的に参加したいと考えている。また、消防団とも交流を図りたいと考えている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	運営推進会は年6回開催され、メンバーは民生副会長、他事業所の管理者、いきいき支援センター職員、入居者、管理者である。ホームの行事報告、職員の研修、外部評価の実施について報告している。メンバーと意見交換を行い、地域の方からは地域の情報を教えてもらっている。今年度は震災が起きた場合のホームの対応についてや避難訓練について具体的に話し合った。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	区役所に介護計画を提出している。何かあれば事務局を通して相談し報告している。名古屋市主催の「事業所防災セミナー」「認知症基礎研修」、区役所、社会福祉協議会主催の研修等には管理者、職員等が積極的に参加している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	ホーム便りを2カ月に1回発行している。管理者は毎月、家族に入居者の様子や身体面についての報告をしている。入居者の状態に変化がある場合は、電話で報告している。家族から要望があった場合は、職員間で話し合い対応している。家族アンケートの結果からも、「職員は良く話を聞いてくれる」「柔軟に対応してくれる」と評価を得ている。玄関には意見箱が設置されている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	○	○			

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。